

# GEISHIN No.153

NPO法人 大分県芸術文化振興会議 通巻第153号  
2025年2月 発行



|    |           |   |             |   |
|----|-----------|---|-------------|---|
| 目次 | ごあいさつ     | 1 | 芸振創立60周年    | 5 |
|    | 令和6年度総会報告 | 2 | お知らせ        | 6 |
|    | 芸振事業の紹介   | 2 | 会員の受彰(賞)者紹介 | 7 |
|    | 芸振ダイアリー   | 4 | 事務局だより      | 8 |



NPO法人 大分県芸振  
理事長 藤間 次登

## ごあいさつ

大分県の芸術文化の振興と発展を担うべく大分県芸術文化振興会議が創設されたのが昭和39年のことでしたので、令和6年で60周年を迎えることとなります。

そのような記念すべき年に理事長という大きな職責を担わせていただくこととなりました。緊張と不安もございますが、皆さまのご指導とご協力をいただきながら、務めさせていただきます。

これまで大分県芸振は、大分県民芸術文化祭をはじめ、芸振会員の皆さんの活動、学校等への訪問公演、若手芸術家の育成等を支援するとともに、書籍や定期刊行物の刊行などを行ってまいりました。

これからの大分県芸振は、これまでの活動を充実、発展させていくことはもちろんですが、加えて、今年度はホームページをリニューアルすることにより、芸振会員の活動状況、大分県民芸術文化祭の開催状況、会員以外の皆さまの後援事業などの大分県全域にわたる広報支援に取り組んできました。

また、大分県と協力して、学校を中心とした地域の子どもの芸術文化の鑑賞や体験を手助けすることにより、大分県の地方創生に貢献したいと考えております。

旧に倍するご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

| 役職名   | 氏 名          | 役職名  | 氏 名         |
|-------|--------------|------|-------------|
| 理 事 長 | 藤間 次登        | 理 事  | 塩川 也寸志      |
| 副理事長  | 長野 薫 (音楽)    | 理 事  | 中村 弘人 (音楽)  |
| 副理事長  | 林 淳一郎 (美術)   | 理 事  | 花柳 裕句匠 (舞踊) |
| 理 事   | 岩男 尚子 (生活文化) | 理 事  | 深田 振霊 (音楽)  |
| 理 事   | 尾野 るり (舞踊)   | 理 事  | 山田 義空 (文芸)  |
| 理 事   | 後藤 青雲 (美術)   | 代表監事 | 清原 保雄       |
| 理 事   | 堺 絵理 (演劇)    | 監 事  | 永見 政子 (音楽)  |

## 令和6年度総会報告

令和6年6月14日、14時からアイネス2F大会議室において、令和6年度通常総会が開催されました。総会には会員総数225名（団体会員134名、個人会員91名）のうち169名が出席（委任状を含む）。はじめに来賓として大分県企画振興部の宮成芸術文化振興課長が挨拶を行った後、議長に豊光会の吉田定氏、議事録署名人に大分県美術協会の戸崎恵子氏、大分交響楽団の倉内芳秋氏を選任しました。

第1号議案令和5年度事業報告、第2号議案令和5年度決算報告及び監査報告、第3号議案令和6年度事業計画、第4号議案令和6年度予算につき、いずれも満場一致で議決され、引き続き第5号議案役員の選任について、現在の理事及び監事の任期が6月17日に満了となるため、役員の改選が必要となっており役員選考委員会から答申のあった12名の理事と2名の監事について諮った結果、次期役員として満場一致で選任されました。

議決後に別室で、理事全員による役員選定のための互選会が行われ、理事長に藤間次登氏、副理事長に長野薫氏、林淳一郎氏、代表監事に清原保雄氏をそれぞれ選定しました。

### 令和6年度役員の改選

今年度の総会において、4期8年にわたり理事長を務めていただいた戸口勝山氏が勇退し、後任に藤間次登氏が選ばれました。そのほかの理事や監事についても全員が交代となり、戸口前理事長から新たな陣容で大分県の芸術文化の振興のため取り組んでほしい旨の激励をいただきました。戸口前理事長には、大変長い間ありがとうございました。

## 芸術事業の紹介

### 文化キャラバン事業

県民が芸術文化に身近に触れることができるよう多くの機会を提供し、芸術文化に親しむ環境づくりに貢献するとともに、県内の芸術文化活動を支援する趣旨のもと実施しております。これまでは県内の小中学校を中心にコンサート、人形劇、大分県美術展巡回展などの公演展示を行っています。

・登録団体数 44団体 ・令和6年度 16市町村52会場で実施（予定含む）



グループ UNO / 杵築市立山香小学校



大分県民謡連盟 / 直川地域コミュニティセンター

## …… 文化キャラバン開催地の声 ……

- ◎子どもたちの大好きな曲を演奏していただいたおかげで、様々な楽器の素晴らしい音色を集中して聴くことができた。校歌の演奏を聴いた時には、迫力があり、美しくもある音に感動していた。  
(大分市三佐小学校)
- ◎「きれいな音だった」「体験が楽しかった」「もっとお箏を弾きたい」等の発言があった。多くの児童生徒が、演奏を聴くときには真剣に耳を傾け、体験の時には意欲的に取り組んでいた。  
(大分県立盲学校)
- ◎コンサートに行ったことがない子どもが多いので、生演奏の素晴らしさ、楽器の音を初めて聴いた驚きや感動、音楽の楽しさなどを感じたという感想が多くあった。(佐伯市蒲江翔南学園)
- ◎デジタルでなくアナログで人が演じることで、人の温かさや昔ながらの人情、語り口など味わい深いものになり、人間性が育つ一つの要因になると考えている。日本古来からある「伝統芸能」などに触れることで感性が深められるのではないと思う。できる方が減っているので、若い方ができるようになると学校としては喜ばしい。(由布市川西小学校)
- ◎校歌の編曲に地域の方々が感動していた。(豊後高田市草地小学校)
- ◎本物に出会わせることが大切だと思う。いつも児童が歌う曲がこれまで触れたことのない楽器で演奏されると雰囲気が異なることを児童が知れて良かったし、ワークショップも大変良かった。  
(九重町野上小学校)

## ● 団体会員の芸術文化事業補助 「芸振補助金」

芸振の正会員（団体）が企画して行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内で芸振補助金交付規程の定めるところにより、補助金を交付しています。

・令和6年度 42事業



一般社団法人 表千家同門会大分県支部  
表千家学校茶道合同茶会／コンパルホール

## ● 海外派遣事業

芸振では、諸外国の芸術文化の実情を調査、研究し、その成果を芸術文化活動に反映させ、国際的視野に立った識見を高め、資質の向上を図るため、その旅費を予算の範囲内で補助することとしています。

この数年はコロナ感染症の影響もあり派遣事業ができておりませんでしたが、令和5年度の研修者としてフランスに赤峯光瑠さん（美術）を派遣しました（R5.9.3～R6.7.2）。



▲ 主な研修地 パリ  
◀ 研修中の作品

## (芸振事業の紹介)

### ● 芸振未来基金事業

芸振未来基金事業は大分県民芸術文化祭の期間外に行う周年事業等、特別な趣旨をもって企画された事業のうち比較的事業費の大きなものについて助成を行うもので、令和6年度からスタートしました。本年度は特定非営利活動法人おおいた第九を歌う会の解散コンサートとなる第46回「大分第九の夕べ」と、大分県美術協会が行う「大分県美術協会60周年記念特別展」が採択されています。

## 芸振ダイアリー

### 文化を語る夕べ開催

12月19日（木）18時から、ホテル日航大分オアシスタワー5階孔雀の間において、第37回となる文化を語る夕べが開催されました。

文化を語る夕べはこの数年、コロナ感染症の影響で中止や縮小開催を余儀なくされていましたが、今回は久々の通常開催となり、佐藤大分県知事、広瀬公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団理事長をはじめ、賛助会員など152名の方々に参加をいただき、盛大な「夕べ」となりました。



最初に、藤間理事長から芸振60周年にあたり芸振の広報に力を入れていきたいこと、2025年の12月をめぐって新聞紙上で、芸術文化関係の特集記事に取り組みたいとの挨拶がありました。続いて、佐藤大分県知事から来賓を代表してご祝辞を頂戴しました。

その後、広瀬大分県芸術文化スポーツ振興財団理事長が、芸振の60周年にも触れながら乾杯のご発声をいただき、和やかな懇談の開宴となりました。2時間におよぶ文化を語る夕べでしたが、参加者からは来年も楽しみにしていますとの声も寄せられました。

### 第26回大分県民芸術文化祭 盛況のうちに終了

令和6年10月1日から約2か月間にわたり開催された、第26回大分県民芸術文化祭が12月8日、盛況のうちに終了しました。開幕行事、閉幕行事ともに予想を上回る観客数で好評をいただき、期間中、主催行事、共催行事、参加行事合わせて156件の行事が県内各地で開催されました。ご協力いただいた各団体、スタッフの皆様にご礼申し上げます。

## 芸振創立 60 周年

2024年12月、大分県芸術文化振興会議は創立60周年を迎えました。

記念事業として、芸振の記録や資料を発掘して60年の歴史を振り返り、より利用しやすくなるようホームページのリニューアルを行いました。

今後、12月には大分合同新聞社への祝賀記念広告の掲載等を計画しています。

### ホームページのリニューアル

#### (1) ホームページのリニューアル

60周年記念事業として、芸振の広報強化に取り組むこととし、ホームページのリニューアルを行いました。トップページにスライド機能を加えたため、加盟団体の公演やイベントがスライドし順次、移動していくようになっており、興味のあるスライドの位置でクリックすれば、詳細が表示されます。

会員の皆様のイベント情報も掲載可能ですのでご利用ください。



#### (2) 掲載項目や内容の充実

芸振60年の歴史をご紹介するために内容の充実を図りました。

##### ①「芸振のあゆみ」の掲載

芸振発足以前の芸術や文化をめぐる状況も含め、1964年12月に大分県芸術文化振興会議が発足してから60年間の記録を年表形式でまとめました。

芸術文化に関する主な出来事や芸振が関係した多くの事業、芸術文化を取り巻く県内の状況等についての情報を可能な範囲で掲載しております。ホームページのトップページ「芸振について」のタグから「沿革」をご覧ください。

##### ② 機関紙「芸振」を創刊号から掲載

現在のホームページにはアーカイブスのページの中に「広報、出版物」として芸振がNPO法人となつてからの機関紙「芸振」を掲載しておりますが、芸振60周年を記念し、資料を採したところ創刊号から現在までのすべての「芸振」が保存されておりました。芸振の活動を振り返るうえで貴重な資料で、先人の芸術文化にける情熱が目の前で展開されているように感じます。創刊号から今日に至るほぼすべてのページを掲載しましたのでご高覧ください。

掲載に際しては個人情報に関する記述はできるだけ削除いたしました。これも時代の変遷を映す生きた資料と言えるかもしれません。

## 新会員紹介

○ 団体会員（2024年12月31日現在）

| 年度    | 団体名                                | 代表者   |
|-------|------------------------------------|-------|
| 令和3年度 | 大分県立芸術文化短期大学美術科<br>卒業生による「それぞれの今」展 | 田中 巖久 |
| 令和4年度 | 劇団OTC                              | 永野憲地郎 |
|       | 情景ヲ奏デル                             | 赤嶺 裕子 |
| 令和5年度 | 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学                 | 小手川大助 |
|       | 武威野音楽大学同窓会 大分県支部                   | 田中 星治 |
|       | ビッグバンド ザ ミーツ (Big Band The Meets)  | 川野 修  |
|       | おおいたの里唄を唄い継ぐ会                      | 北原 うた |
|       | Primavera                          | 波多野典子 |
| 令和6年度 | ハーラウ・オ・ブアレヒヴァヒヴァ                   | 安田 恵美 |
|       | 大分シンフォニック・ウインド・オーケストラ              | 高橋 修二 |
|       | 大分県能楽連盟・能を楽しむ会                     | 谷村 育子 |
|       | 公益財団法人 書道芸術院九州支局                   | 児玉 範光 |

○ 個人会員（本誌発行時にすでに退会の会員は記載していません）

| 年度    | 氏名                                                                |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 令和3年度 | 林 憲吾                                                              |
| 令和6年度 | 岩男 尚子、尾野 るり、堺 絵理、田中 愛子、<br>谷村 育子、戸崎 恵子、長野 薫、中村 弘人、<br>林 淳一郎、深田 敏文 |

## 物故者

脇坂 秀樹 先生

（令和4年4月2日ご逝去 芸振顧問、芸振元副会長、  
元大分県美術協会会長）

脇 正人 先生

（令和6年2月27日ご逝去 芸振顧問、芸振元会長、元  
大分県美術協会会長）

お二方をはじめ、芸振会議の一員として、ともに  
芸術文化活動を支えてこられた方がご逝去されまし  
た。心から皆様のご冥福をお祈りいたします。

## 脇正人先生の思い出

1991-2002大分県美術協会、2001-2006大分県芸  
術文化振興会議の各々会長として、美術家として、  
大分の美術及び芸術文化の発展に寄与された。

### 【受賞歴】

1989 第53回自由美術展 自由美術賞  
1997 大分県知事表彰  
1997 大分合同新聞文化賞  
1999 第35回大分県美術展OG賞  
2003 地域文化功労者表彰（文部科学大臣）  
2004 秋の叙勲 旭日双光章

脇先生は常に「文化に関わるからには、いい作品  
を創る、いい絵を描く」を信条に最晩年まで真摯で  
熱い制作姿勢を貫かれた。一方、作品に対するスト  
イックさとは対照的にとても温かい方であった。県  
美術協会で事務局長、事務局員として共に仕事をし  
た時のこと。私の下手な字の謄写版印刷の会議案を  
ご覧になり、「うん、きれいや」とおっしゃった。  
用紙一枚を絵として見てくださったのかなと思う。  
そして「県美協の事務局の仕事は普通の事務職のよ  
うでなくても良い。やりやすいようにやりなさい。」  
と仕事をする人へ敬意を感じた一コマである。

厳しくもおおらかな方であったが、平成18年、  
芸振会長としてNPO法人設立という大きな転換の  
時期の舵取りをされた際には大変なご苦労だったと思  
う。絵を描く暇がない！と始終こぼされていた。お  
かげでNPO法人となった新生芸振は多くの会員の  
力を集め順調に船出することができた。私も当時の  
事務局長として心から感謝している。

ところで、脇先生といえば、我々日洋彫工部会に  
は忘れられない先生作の替え歌（元歌「いい湯だな」）  
がある。

♪ いい会だな いい会だな 朝から晩までただ働きで  
いい会だな いい会だな ここは県美協日洋彫工部  
いい絵だな いい絵だな 絵の具が手足にベタリと  
ついて  
いい絵だな いい絵だな ここは県美協日洋彫工部

飲み会の終わりに毎回必ず皆で大声で歌いまし  
たね。先生、聞こえますか。合掌

日名子金一郎（元県美協会長・元NPO法人大分県芸振事務局長）

## 県から情報

令和6年12月に大分県から大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造 ビジョン2024～新しいおおいたの共創～」が公表されました。

これは、2024年度から2033年度にかけての大分県の進むべき道筋を示したもので、今後大分県の政策の柱となっていくものです。

計画では「芸術文化による創造県おおいたの発展」を政策のひとつとして掲げています。

この中で文化や芸術に関する施策としては

- 1 芸術文化を享受できる機会の充実
  - 2 芸術文化の創造性を活かした地域づくり
- の2つに取り組むこととしています。

そして、この長期計画が目指す10年後の姿として

- 県民誰もが、多彩で質の高い芸術文化に触れ・親しみ・自ら創作し、こどもたちは豊かな感性や創造力をはぐくんでいます。
- 芸術文化の持つ可能性があらゆる分野と融合し、観光誘客や産業の高付加価値化につながっています。
- 地域の人々が、愛着を持って文化財や伝統文化を保存・継承し、まちづくりや地域活性化に活かしています。を想定しています。

### 新規事業について

大分県芸術文化振興課から、県が企画している新規事業についてのお知らせがありました。

それによりますと、県では新たに令和7年度から伝統文化を次世代に継承するために、次の2つの事業を予定しています。

伝統文化団体が中心となりますが、事業実施方法や予算については今後、情報提供があるものと思います。皆様のご協力をお願いします。

### ① 伝統文化親子体験アカデミー事業（県直轄事業）

伝統文化親子体験アカデミー事業は、伝統文化分野での若年・中年層世代における裾野の拡大及び次世代人材を確保しようとするもので、①OPAMでの伝統文化ミニコンサートや楽器や道具に触れあう体験会の実施 ②計画的・継続的な研修機会を提供するための体験教室の開催が事業の柱となっており、体験教室終了後は既存の地域教室での稽古へと発展させ継承者を確保することを目指しています。

### ② 伝統文化地域アウトリーチ事業

地域間の格差是正と地域での伝統文化の継承を図るために、伝統文化に親しむきっかけづくりとして、小中学校等での伝統文化ミニコンサートや体験教室の開催を柱とするもので、現在の文化キャラバン事業の拡充を図るものです。

## 会員の受彰(賞)者紹介

### 《令和3年度》

- ◆叙勲(春)旭日双光章  
谷村(松本) 育子(大分県能楽連盟会長  
重要無形文化財「能楽」総合認定  
保持者)

- ◆地域文化功労者表彰(文化庁)  
日名子 金一郎(元大分県美術協会会長)

- ◆大分県功労者表彰(学術・文化振興)  
平 晟齋(書道家)

### 《令和4年度》

- ◆叙勲(秋)旭日双光章  
伊勢 方信(大分県歌人クラブ会長)

- ◆地域文化功労者表彰(文化庁)  
津久見樫の実会

### ◆大分県功労者表彰(学術・文化振興)

工藤 紘喜(大分県吹奏楽連盟会長)  
宮本 修(元大分県合唱連盟理事長)

### ◆大分合同新聞文化賞

合田 習一(元大分県美術協会会長)

### 《令和5年度》

### ◆地域文化功労者表彰(文化庁)

合田 習一(元大分県美術協会会長)

### ◆大分県功労者表彰(学術・文化振興)

宮吉 寛(元マンドリンオーケストラ会長)  
松本 千鶴香(元日田文化連絡会会長)

### ◆大分県教育功労者表彰(学術・文化振興)

橋詰 正三(大分県吹奏楽連盟理事長)

### 《令和6年度》

### ◆地域文化功労者表彰(文化庁)

戸口 勝山(元NPO法人 大分県芸術文  
化振興会議理事長)

### ◆大分県功労者表彰(学術・文化振興)

西村 桃霞(書道家)

### ◆大分県功労者表彰(学術・文化振興)

芳村 孝次女(長唄 松樹會会主  
重要無形文化財長唄総合認定  
保持者)

※職名は受彰(賞)当時のものです。

## 事務局だより

### 会費の納入のお願い

芸振の令和7年度会費のお願いを機関紙「芸振」に同封しています。例年どおり4月30日をめどに振込みいただくようお願いします。

過年度分の未納がある会員様にはあわせてご納入をお願いします。

なお、会費の過年度分の未納がある場合は、まず未納分に充てる取扱いとしています。ご了解ください。

### 大分県文化年鑑原稿のお願い

令和7年度版大分県文化年鑑を発行します。別途、メールまたは郵送で原稿依頼をお送りしますので6月末までに提出をお願いします。

### 県民芸術文化祭、3月1日行事募集を開始

対象は令和7年度共催行事、令和8年度開・閉幕行事です。

詳しくは、募集チラシおよび文化祭ホームページをご覧ください。

### 事務局

令和6年4月1日から、事務局員として大園英明を採用し、事務局3名体制から4名体制へと充実を図りました。よろしくお願いします。

事務局長 塩川也寸志

事務局員 池田リエ、大園英明、平松慶子

### 編集後記

60周年記念事業のネタ探しで、ロッカーを漁っていたところ機関紙「芸振」が大量に保存されていた。最初は倉庫の隅でパラパラとめくっていたがこれがパラパラという具合にはいなくなってしまった。

街頭での署名活動や行政機関への要望活動など芸振の「運動」の歴史と成果がそこにはあった。すでに記事でも触れたが先人の情熱と行動力には頭が下がるばかりである。

今回、機関紙「芸振」第153号の編集に携わることとなり、パラパラめくりが許されるはずもない。今までの「芸振」を参考に、充実した紙面を目指そうとの当初の志であったが、結果的には「こんなでできました～」である。NHKの朝ドラでもパラパラやっていたし、「まあいっか」ということで、ご高覧賜れば幸いである。

### NPO法人 大分県芸振

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センターB1F  
TEL:097-536-0522 FAX:097-536-6188 E-mail:info@geishin.jp  
URL:https://oita.geishin.jp/